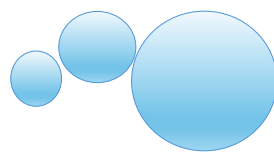


「物を大切に扱う」



今、皆さんが大切に使っているものを思い浮かべてください。

いくつでもいいですよ。

今、思い浮かべたものは、買ってもらったものですか？

それとも、時間をかけて作ったものですか？

誰にでも、「大切にしたい」「大切に使い続けたい」と思うものはありますね。

毎日学校で使っている、自分の教科書やノート、タブレット、筆記用具など。

また、学校では、みんなで使っているものもあります。

学級のボールや図書室の本、校庭の遊具、様々な学習で使う道具。どれも大切に使うものです。

物を大切に、長く使っていくためには、どうしたらよいでしょうか。

学校では、毎週、みんなで協力して、一生懸命に掃除をしている姿にいつも感心しています。

教室には、ごみ箱がありますよね。

皆さんが、分別をして集めたごみは、最後に決められたごみ箱に持っていきます。

例えば、ゴミ袋の口を縛って、袋ごと「大きなごみ箱」に捨てたとします。

そして、ごみ箱には、新しくもらったごみ袋をかけて、次に捨てる時まで、ごみ袋として教室にあります。捨てたごみ袋は、集めたごみと一緒にになります。

学校の用務室・警備室前の棚には、たくさんのごみ袋があります。

その棚には、「**再利用ごみ袋**」と書いてあります。

これは、用務主事さんが、大きなごみ箱に集まったごみ袋の中身を別に移して、まだ使える袋を丁寧にたたんで、また、みんなが使えるように取っておいてくれているものです。破けてしまった袋はテープなどでふさいで、別のお仕事に使えるようにしているものもあるそうです。

新しくなくても、袋として十分に役割を果たすことができるものが多いですね。

皆さんの周りには、大切に扱えるものがたくさんあります。どうしたら、長く使えるか、一人一人が考えて、毎日の生活に生かしていきましょう。